

# 町の考え方を問う

# 一般質問

9月定例会では、町政全般へ7人の議員が15項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に抜粋となっておりますのでご了承ください。

- 沖津 弘幸 (P8) ☆洋野町震災漁網受け入れについて
    - ・「国際観光地への更なる飛躍」について
    - ・さくら館の運営について
    - ・出張所の移転について
  - 勝俣 公好 (P8) ☆街中を徘徊する猪の対策について
  - 村上 東司 (P9) ☆函嶺洞門バイパスの整備状況について
  - 川端 祥介 (P9) ☆箱根町の廃棄物処理(リサイクル)について
    - ☆学校給食について
    - ・いじめ問題について
  - 勝俣 剛一 (P9) ☆防災対策について
  - 村野由紀子 (P10) ☆箱根町のトイレについて
    - ☆子育て支援の充実について
  - 山田 和江 (P10) ☆国民健康保険料の引き下げと減免制度の改善について
    - ・バス・電車の敬老無料パスについて
    - ☆商店の振興と買い物難民対策について
- 質問が複数ある議員については☆のついている方を掲載しています。

## 環境 洋野町震災漁網受け入れについて 沖津 弘幸

**Q** 現状までの町民の意見や反応について、今後の町民の不安感解消の手続きと漁網受け入れの周知について

**A** 町外者からの反対意見が時折数件ある。風評被害の対策や町民の不安の解消のため、漁網の受け入れに関するQ&Aをホームページで公開するとともに、広報はこねや回覧まちだより、時には世帯配布などを行うなど、漁網の処理に関する知識や各種検査結果を公開していく。また、受け入れする漁網の安全性の確保については、二重三重のチェックを行う。

**Q** 風評被害に関する町民の不安の解消や漁網の安全性についての基準設定とその確認について

**A** 神奈川県と締結した合意書の中で、受け入れ条件を設定した。また同じく放射性セシウム濃度や有害物質、農薬類について仕分けされた漁網を積み上げ、神奈川県が検査試料

採取し、専門機関に委託し検査する。

**Q** 最終処分場に処分する方法とその管理について

**A** 漁網の受け入れ時に空間線量率を確認し、受け入れ基準を満たすことが確認できたものを、フレキシブルコンテナバック毎に計量し、最終処分場に運び込み、袋のまま埋め立て処理する予定。最終的には約50センチメートルの深さの覆土を漁網の上部に覆うことで、飛散防止などの対策を行う。その後の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い適正な維持管理を行うとともに、空間線量率や最終処分場からの放流水の放射能濃度を今後3年間、月1回の頻度で測定する。

町中でイノシシと遭遇した場合の対応策などは、各媒体で繰り返し周知をしている。イノシシは、餌を探しに来るので、不用意に出したごみが必要になる。ごみ出しの時間の徹底を引き続き周知していきたい。住宅地の一角に手入れの行き届いていない空き地・空き家があり、そこにイノシシが居座っているようなことも聞いている。このため、こうした場所について、所有者に対し草刈りをしてほしいとか、建物を管理してほしいと云ったようなお願いも今後行っていくたいと考えている。町中を徘徊するイノシシを直接的に追い払ったり、銃器を使用しての駆除を行うこ

とは、2次被害が発生する危険性があるので、万が一のことを考えると、なかなか現実的な対応としてとりにくい。こうしたことから、イノシシの捕獲、駆除には、これまでと同様に山の中や山からの獣道に重点を置き、地道に行っていくこととし、イノシシが町中を下りてきにくい環境の整備については、住民の皆さん方からもご協力をいただき、徘徊の防止を図っていくとともに、被害に遭わないような自己防衛策の周知を引き続き行いたい、被害の防止に努めていきたい。



震災漁網

## 環境 街中を徘徊する猪の対策について 勝俣 公好

**Q** 町内を徘徊するイノシシからの被害を除くこと、町民の生命、財産を守ることも、最優先にすべきことだと思えます。町中を徘徊するイノシシの対策はどのようになつておりますか。

**A** 町中でイノシシと遭遇した場合の対応策などは、各媒体で繰り返し周知をしている。イノシシは、餌を探しに来るので、不用意に出したごみが必要になる。ごみ出しの時間の徹底を引き続き周知していきたい。住宅地の一角に手入れの行き届いていない空き地・空き家があり、そこにイノシシが居座っているようなことも聞いている。このため、こうした場所について、所有者に対し草刈りをしてほしいとか、建物を管理してほしいと云ったようなお願いも今後行っていくたいと考えている。町中を徘徊するイノシシを直接的に追い払ったり、銃器を使用しての駆除を行うこ

とは、2次被害が発生する危険性があるので、万が一のことを考えると、なかなか現実的な対応としてとりにくい。こうしたことから、イノシシの捕獲、駆除には、これまでと同様に山の中や山からの獣道に重点を置き、地道に行っていくこととし、イノシシが町中を下りてきにくい環境の整備については、住民の皆さん方からもご協力をいただき、徘徊の防止を図っていくとともに、被害に遭わないような自己防衛策の周知を引き続き行いたい、被害の防止に努めていきたい。

